

# ありがとう

臨時発行号  
令和6年1月22日  
文責 野村 佳祐

## 自分の考えとみんなの考えは同じ？

1/19（金）に学年合同帰りの会を行い、SNSの使い方についての確認を行いました。中学校に入学して、もうすぐ1年が経とうとしていますが、1学年でSNSに関するトラブルが絶えず起こっています。今回を機にSNSの使い方を見直し、今後も同様のトラブルで人間関係に困ることが起きないようにという目的で、確認をしました。

合同帰りの会で、実際に生徒に向けてお話した内容を紹介します。

子どもに人気のある、辛い食べ物と言えばなんですか？

最初に全体へ質問をしました。するとすぐに「辛ラーメン！」と元気よく答えが返ってきました。近くの人と話し合いをして、意見を出させてみると、「カレーライス」、「キムチ」、「担々麺」などが出てきました。

続けてこのような質問をしました。

夜遅い時間といえば、何時ごろですか？

こちらが19時、20時、21時…と言い、それに合わせて遅いと思う時間に手を挙げさせるとそれぞれバラバラに手が挙がりました。（最も挙手が多かったのは23時でした。）

2つの質問からわかるように、人の考え方や感覚はそれぞれ異なります。

続いて、右の図のスライドを見せました。そして、3つ目の質問をしました。

この5つのメッセージの中で一番うれしい言葉は何ですか？また、一番いやな言葉は何ですか？

近くの人と話し合わせて、①～⑤で一番うれしい言葉、いやな言葉に手を挙げさせると、これもまたバラバラに手が挙がりました。同じ言葉でも、一番うれしいと感じる人もいれば、いやだと感じる人がいることに驚きの様子でした。相手が喜ぶと思って送ったメッセージが、逆に相手をいやな気持ちにさせてしまう可能性があることをここで確認しました。

① 個性的だね

② おとなしいね

③ 面白いね

④ マイペースだね

⑤ 真面目だね

さらに、4つ目の質問をしました。

この中で最も嫌だと思うものを2つ選んで、近くの人と確認してください。

生徒の話し合う様子を見ると、3つ目の質問の時と全く同じ状況となりました。生徒の会話の中には、「③は良いことよね？」という言葉や、「⑤は嫌だなー」、「自分は⑤は平気」というやり取りが聞こえてきました。自分が絶対に嫌だと思っていることが、相手には全然気にしていないこともあります。

① 話をしている時にスマホを触っている

② すぐに返信がない

③ なかなか会話が終わらない

④ 知らないところで自分の話題が出ている

⑤ 自分が映っている写真を勝手に公開される

いかに、自分が周りに対して、「他の人もきっと同じ」という誤認識をしているかがこれまでの流れからわかります。みんな違って当たり前なのに、その認識の違いから、相手に怒りの感情を抱いたり、仲間はすれにしたりすることが起こっています。LINEを使った悪口やいじめも同じです。

最後に、LINEというアプリが生まれた経緯を説明しました。

電話とメールしかなかった時代に発生した東日本大震災では通信が途絶え、家族や大切な人との安否確認が遅れて多くの人が震災の被害に遭いました。包丁は料理の材料が切れるように、スコップは土が掘れるように、物には必ず作り手の思いが込められています。LINEも同様です。SNSは多くの人とつながり、コミュニケーションを取って仲良くできるような願いが込められています。それを決して人を傷つけるものに使わないように心がけてもらいたいと思います。

LINEアプリ  
(2011年に開発)



東日本大震災をきっかけに開発。  
電話が繋がらなくても大切な人と連絡を取り合えるようにという願いから。

学校ではこのように定期的にSNSの使い方を含め、生徒全員が安全に、安心して学校に登校できるように話をしていきたいと考えております。保護者の皆様も、今後お子様が安全に、安心して学校に登校できるように、今後もSNSの使い方についてご家庭で確認したり、見守ってもらったりしてもらえると幸いです。今後ともよろしくお祈りいたします。